

平成17年度 分野チェックリスト

分野名	産業経済・区民生活分野		分野番号	4
分野担当部	区民生活部	関連部		

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化							
番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			14年度	15年度	16年度	19年度末	
1	高齢者の就労率	%	(34.3)	(34.3)	31.3		
2	商店街の活性化度(従業員一人あたりの売上高)	百万円	32.3	(32.3)	32.5	増加させる	
3	みどりの産業事業所数	所	(5,327)	(5,327)	4,982	増加させる	
4	若者に対するまちの魅力度	%	(81.4)	80.6	85.5		
5	課税所得の平均値	千円	4,813	4,734	4,653		

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)	
1	3年に1度、介護保険計画見直しに伴う調査に基づく指標である。3年前と比較して3%減少している。雇用環境の悪化、社会活動の多様化などが減少の原因と考えられる。
2	「商業統計調査報告」(東京都)に基づく指標である。一人当たりの売上額は、年間20万円程度の増となっており、引き続き増加傾向で推移している。
3	4年に1度、杉並区新産業実態調査として実施される数値である。調査対象が若干変更されたため、正確な比較はできないが、前回に比べ減少傾向となっている。
4	14年度までは20歳代の区民を調査対象としていたが、15年度から18～29歳までを対象を変更した。区民意向調査による魅力度は引き続き80%を超えており、15年度に減少した数値は大きく改善された。
5	14年度まで微増傾向であったが、15年度から減少傾向に変わっている。景気は緩やかな回復傾向に向かいつつあるといわれているが、年間所得が81千円減少しており、引き続き積極的な産業振興策が必要な状況である。

チェックリストの状況(参考)

番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)
	定義	
1	高齢者の就労率	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。
	$60\text{歳以上の就労者} \div 60\text{歳以上の人口} \times 100$ (杉並区高齢者実態調査結果 3年に1回)	
2	商店街の活性化度(従業員一人あたりの売上高)	東京都全体 106.0百万円
	$\text{区内年間商品販売総額} \div \text{区内総従業者数}$ (東京都商業統計調査 3年に1回)	中野区 34.9百万円 豊島区 50.8百万円 板橋区 40.4百万円 練馬区 26.1百万円
3	みどりの産業事業所数	特別区全体 139,666所
	NTTデータベースから抽出した情報通信、環境、福祉など「みどりの産業」にふさわしい分野の事業所数 (杉並区新産業実態報告書における新産業の事業所数 4年に1回)	
4	若者に対するまちの魅力度	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。
	杉並区区民意向調査における18～29歳までの回答者のうち「あなたは、杉並区のどの地域に最も魅力を感じますか」の問いに「特に魅力を感じる地域はない」と回答した人以外の人の割合	
5	課税所得の平均値	中野区 4,225千円 豊島区 4,209千円 板橋区 3,811千円 練馬区 4,270千円
	$\text{総所得金額等(分離課税分含む)} \div \text{納税義務者数}$ (東京都市町村税の課税状況等の調査結果第12表)	
特記事項		